



こんばんは

遠友塾 です!



「札幌遠友塾自主夜間中学」は、ボランティアスタッフが運営する自主夜間中学です。これまでさまざまな理由で義務教育を受けることができなかった500人以上の人たちが、励まし・支えあいながら学んできました。遠友塾は1990年にスタートし34年目を迎えました。2009年から皆様のお陰で、札幌市立向陵中学校の教室で、毎週水曜日の夜に授業を行ってきました。なお、コロナ禍のため、3年間は向陵中学校での授業を休止していましたが、4月から再開することができました。喜びもひとしおです。

2023年度「北海道夜間中学交流会」が開催されました!

9月9日、札幌市のかでる2・7を会場に、函館遠友塾、釧路くるかい、旭川に公立夜間中学をつくる会、北見夜間中学、などの遠方からの参加者に加え、札幌市立星友館中学校、北海道に夜間中学をつくる会、そして札幌遠友塾と、多数の「学びたい」という熱い思いを持った参加者の皆さんの交流が行われました。

各地区からの報告では、コロナ禍の中で工夫しながら授業を進めてきた苦労や、成果が発表されました。また後半に行われた参加者全員が車座になったの交流では、一人ひとりが学ぶことができる喜びや楽しさを語り合いました。中でも「家族のような学びの場があることの幸せ」という言葉が印象的でした。



学ぶことが
生きること!

4年ぶりの遠友塾の遠足（コロナ禍後初）

10月8日、さわやかな日曜日、受講生25名、スタッフ27名の52名が参加し豊平館に向かいました。豊平館ではガイドの方の説明をみなさん熱心に聞き、豊平館の歴史や建築の技術に感心しました。最後に白とブルー（このブルーはラピスラズリという高価な宝石）のきれいな外壁のところでクラス写真を撮って解散しました。その後は各クラス、中島公園を散策したりおしゃべりをして、楽しい秋の日を過ごしました。



ナウマンゾウの化石、アイヌ文化、国宝の縄文文化

～ 社会見学 北海道博物館にて ～

9月23日(土)、社会科部会の計画により、久しぶりの社会見学が35名の参加により実施されました。マンモスとナウマン象の化石に圧倒され、アイヌ文化と歴史、北海道の暮らし、生き物たちの北海道について、とても興味深く見学ができました。今回は特別展として「北海道の縄文文化」が期間限定で展示され、希望者の方々は国宝に指定された北海道の2点：中空土偶と白滝遺跡群出土品を見ることができました。さわやかな秋晴れを満喫できた有意義な時間でした。



「銀賞受賞」おめでとう！

―向陵中学校吹奏楽部全国大会出場―

去る十一月二十一日、全道大会を制覇した向陵中学校の吹奏楽部が、名古屋市中における全国大会で見事銀賞を受賞しました。素晴らしい快挙ですね。

大会直前の十月十八日、吹奏楽部の部室前で、遠友塾の皆さんに聴いてほしいとお話があり、演奏を聴くことができました。遠友塾では遠征費への支援金を募り、学校にお渡ししたところですが、そのお礼にこのことでした。演奏に圧倒された受講生さんの感想を紹介します。

素敵な演奏ありがとう。
練習の成果がステキな音色になるのですね。演奏を聴いて幸せな気分になりました！

吹奏楽をまじかに聴くことができ感動です。魂の込めた演奏、先生の力強い指揮、心がおどり身体が動かなくなるほど聴き入ってしまいました！

時々吹奏楽の練習の音が聞こえてきて、血が騒ぐような胸の高まりを感じて、いつかちゃんと聴きたいと思っていました。希望がかなって、嬉しかったです！



夜間中学の歌声 (2023年7月3日北海道新聞夕刊「まど」欄記事を再掲)



5月下旬の夕方、札幌市立向陵中で開かれた自主夜間中学「札幌遠友塾」の始めの会で歌声が重なった。「見上げてごらん夜の星を」。歌うのは10~90代の塾生とボランティアの100人ほどだ。代表の黒澤晴一さんは「やっとみんなで集まり、歌える日が戻ってきた」と目頭を熱くした。

遠友塾は戦争の影響や病気で通えなかった人のため、1990年に開校。週1回、2コマの授業を行い、現在は70人ほどが在籍する。これまでに延べ2千人以上が学んできた。

新型コロナ禍では、緊急事態宣言で休塾せざるを得ず、感染防止対策のため公共施設でも授業をした。「初めての経験ばかりだった」。授業前の恒例だった全員での合唱も、中止を余儀なくされた。「日常」が戻り始めたのは今年4月。マスク着用が個人の判断に委ねられ、感染状況も落ち着いたことで3年ぶりで向陵中で授業し、合唱も解禁した。黒板、学習机、いすを使えることも、学校に通えなかった塾生にとっても学ぶ喜びにつながっている。「多くの人に支えられながら、今後も歩みを進めたい」
(麻植文佳：北海道新聞記者)

札幌遠友塾

受講・スタッフ・見学希望はこちらまで

事務局長 中島圭子 電話：090-7645-7681

代表 黒澤晴一 電話：011-827-8072